

（お知らせ）

2026年9月30日
中国電力株式会社

堀川遊覧船における当社が創出した「Jブルークレジット」の活用について

当社は、島根原子力発電所3号機（所在地：島根県松江市）の人工リーフ（浅瀬）で形成された藻場によるCO₂吸収量をJブルークレジット[※]として取得しており（[2023年2月10日お知らせ済み](#)）、これまでに旅行ツアーやバスケットボールの試合、美容イベント等の7件で活用されています。

公益財団法人松江市観光振興公社（代表理事理事長：能海 広明）が運営する堀川遊覧船においては、2024年と2025年に当社が創出したクレジットを活用（[2024年3月13日](#)、[2025年8月26日](#)お知らせ済み）されており、このたび8件目として、2026年においても活用されることとなりましたのでお知らせします。

＜堀川遊覧船＞



本取り組みは、当社が創出したJブルークレジットを活用し、電動遊覧船などの使用により排出されるCO₂（0.9t）を実質ゼロ（オフセット）にします。本件は、松江市が目指す脱炭素社会のカーボンニュートラル観光推進の取り組みの一環として実施されるものです。

なお、このたびの堀川遊覧船でのご活用により、当社が2023年に島根原子力発電所3号機の人工リーフでの藻場形成により取得したJブルークレジット（15.7t）については、全量が活用されることとなりました。

今後も、新たなJブルークレジットの取得に向けて検討することとしています。

当社は、中国地域を基盤とする事業者として、引き続き、エネルギーの脱炭素化を進めるとともに、地域の皆さまと連携してカーボンニュートラルに挑戦することで、地域の発展に貢献してまいります。

<島根原子力発電所3号機の人エリーフ併用防波護岸での藻場造成>



図1. 島根原子力発電所3号機北側
人エリーフ鳥瞰図

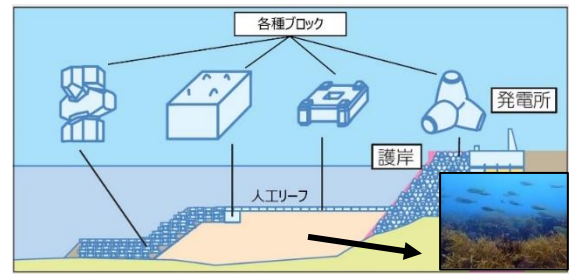


図2. 図1の右上矢印方向から見た
人エリーフ断面図

※ ジャパンブルーエコノミー技術研究組合が発行する、CO₂吸収量を取引可能なクレジットにしたもの。

以 上